

●生活・法律相談は

◆市議会議員

高野 とも (7155) 1683

◆市議会議員

いぬい紳一郎 (7159) 2773

◆市議会議員

小田桐たかし (7154) 0878

日本共産党中央委員会 URL <http://www.jcp.or.jp/>

◆市議会議員

徳増きよ子 (7148) 6871

◆元市議会議員

若王子博夫 (7159) 0861

◆元市議会議員

せのお七重 (7146) 0694

●サラ金、交通事故、遺産相続、借地借家、教育、医療、年金、住宅、パート労働、介護、その他、困ったこと、わからないこと、どんなことでも気軽におよせ下さい。

流山民報

2007年10月号

第155号

編集発行人

日本共産党流山市議団

流山市加 4-1688

TEL/FAX (7157) 6140

E-Mail: kfbkd645@ybb.ne.jp

<http://www.geocities.jp/kfbkd645/index.htm>

ストップ貧困! 自公政治はもうゴメン みんなの声が政治を変える

日本共産党



H20年度予算要望を市長に提出しました

H18年度は、高齢者への課税強化や定率減税の縮減の結果、総額7億1千万円余の市民増税が行われ、国保や介護の負担も引き上げられました。さらに、年度末には、15億円の余剰金が発生。税金の使い方、予算の立て方が問われました。

本来なら、負担増に苦しむ市民の暮らし・福祉・教育の充実には、税金の配分すべきではないでしょうか。ところが、井崎市政は、議会オール与党にささえられ、新線沿線での巨額開発に巨費を投入。そのため、市の借金は、4年間で約12億円増え、とうとう総額959億円（市民一人当たり62万円）

にまで膨らんでいます。また、市長報酬2割カットを中止し、4年間で約千二百万円も増えることに。日本共産党は、税金の使い方を切り替えるよう強く主張し、市民のくらしを応援する市政実現を求めました。

市民に負担増おしつけ、さらに、ふくらむ借金

H18 決算審査

弱肉強食の「構造改革」路線にノーの審判をくだした民意が、政治を動かすはじめています。

選挙後も居座った安倍内閣はあつという間に崩壊。与党は、弱い者いじめの後期高齢者医療、障害者自立支援法の凍結・見直しへ。

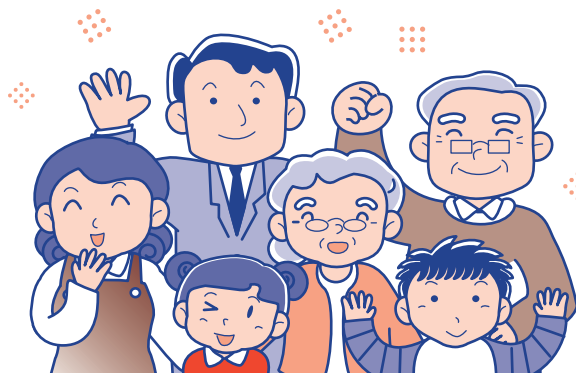
日本共産党は、「75歳以上すべての高齢者に耐え難い負担を押し付け、差別医療を持ち込む、世界に類を見ない悪政」と後期高齢者

医療の中止・撤回を求めて奮闘、署名運動にもとりくんでいます。流山市議会でも、意見書を提出しました。

ところが、オール与党が反対し否決したのです。

沖縄では、「集団自決」の記述を削除した教科書検定に抗議する大集会に11万人が参加。かたくなだった政府も対応を約束せざるを得なくなりました。

暮らして平和を守る新



	日本共産党	民主・市民クラブ	流政会	公明党	社民党	緑の会
平成18年度一般会計歳入歳出決算	×	○	○	○	○	○
平成19年度一般会計補正予算	×	○	○	○	○	○
パトリオットミサイル習志野基地配備反対の陳情	○	×	×	×	○	○
後期高齢者医療制度の改善を求める意見書	○	×	×	×	○	×
「テロ特措法」延長反対の意見書	○	×	×	×	○	×

国への意見書は市議会にすぐわない?!

日本共産党が提案した『テロ特措法延長に反対する意見書』に、民主・市民クラブが反対しました。「国に意見を言うのはそぐわない。地元選出の国会議員を信頼している」（藤井議員）と言うのです。

そもそも意見書とは、地方自治法にも規定され、国などに市民の声を議会として届ける当然の手段です。戦争支援をやめさせるために、野党が一致して要求している今この時に、こうした姿勢はいかなるものでしょうか。

『日本の青空』上映会に617名が参加し大成功

9月23日、市内で憲法の制定過程を描いた映画「日本の青空」が上映されました。九条の会・流山がよびかけた実行委員会が主催。若者や親子づれも多数参加し、憲法を守ろうの運動が、さらに一歩広がりました。

くらしを守る「命綱」 願い実現へ

日本共産党

市議会議員
高野 とも市議会議員
いぬい 紳一郎市議会議員
小田 桐たかし市議会議員
徳増きよ子

「高年齢者に立ちはだかる『利用しづらい保険』」(週刊「東洋経済」)―介護保険の見直しから1年。保険料値上げなど負担増の一方で、ベッドや訪問介護などサービス取り上げがすすみ、「介護難民」も…。介護保険制度はいま、国民的な存在意義が問われています。

しかし、厳しい実態への認識を問う質問に「まだまだ理解されていないから」と担当部長。市民に寄り添う姿勢が見られ

介護保険の負担軽減

「市独自の支援策の検討」を約束

そんな中でも、「負担を減らす流山市独自の支

介護保険認定者は 障害者控除認定 の対象に

高齢者の方に朗報です。10月1日広報「税控除認定書の発行」のお知らせをご覧になりましたか。確定申告時に27万円の税控除がつけられます。障害者手帳がない人でも市長が認めれば障害者控除対象とする制度で、日本共産党が2年前から、基準づくりを求めています。対象となるのは介護認定を受けている約5000人の市民。

ぜひご相談ください。所得税、市県民税や国保料、介護保険料の軽減につながります。

生活保護 「辞退届は強制しない」と市長答弁

北九州市で餓死事件が起こりました。原因は、生活保護の辞退届を強要したものでした。

日本共産党は、流山市ではこのようなことがあつてはならないと、辞退届について質問しました。

「流山市でも辞退届の用紙が準備されているが、強要しているのではないかと。本来、廃止・停止や変更は、行政処分で行うこと。処分に対して不服申し立ての機会を保障する点からも、辞退を強要すべきではない」との追及に、「強制はしない」と市長は答弁しました。

「政治を変えたい」「これ以上の負担増はごめん」との怒りが示された参院選。その後に開かれた9月議会で、日本共産党は開発優先・市民不在の市政を告発するとともに、みなさんの願いを届け、市民生活応援、負担を減らす提案を行いました。そして、また一歩改善をすすめることができました。

発達障害

サポート教員、 介添員の増員実現へ

発達障害者支援法が行われ、様々な取り組みが始まっています。しかし、流山市では、人員不足や、法の趣旨が徹底されず、学校や福祉現場で支障をきたしています。

現場の実態を示し、具体的な改善方策を提案す



援策を」との日本共産党の提案に、副市長は「今後、検討する」と約束しました。

流山市の

これでいいのが公共事業

建設から維持管理・運営まで民間に任せる小山小学校等PFI事業。

1企業グループの入札で決定し、建設会社が辞退しても再審査なし。未購入の土地があり、しかも全体でいくらかかるのかも示さないまま、12月には工事着工。税金を使う公共事業が、これでいいのでしょうか。

さらに市は、セントラルパーク駅前市有地に、何でもいから民間が建設してと、計画を募集。開発の起爆剤にしようとしています。ここには市民の願いは反映されていません。

防災対策

住宅・マンション 耐震診断の補助を実現

新潟県中越沖地震をはじめ、各地で大きな地震が発生。自分の家は大丈夫か。被害にあったら生活再建できるかなど、住民の不安が増えています。

こんな時こそ国や自治体の支援を求めてきましたが、ようやく市は住宅・マンションの耐震診

断への補助を、国の制度を活用して実施すると約束しました。

また、これまで市は、学校や文化会館などの耐震化をすすめてきましたが、避難場所になつていない幼稚園や公民館などについても、耐震化を計画するとなりました。



活上必要な児童へ補助費を加算するとしました。

市長も、教育・福祉・医療・労働等の連携を強化するために、情報の一元化を約束しました。

身近な要求実現

野田県道北団地そばの歩道の草刈を実施

高野 とも



今上落川沿いの道路を改修

いぬい 紳一郎



大畔 保育園そばのT字路に道路照明

小田 桐たかし



向小金1丁目壊れたU字溝のフタ改修

徳増きよ子

